

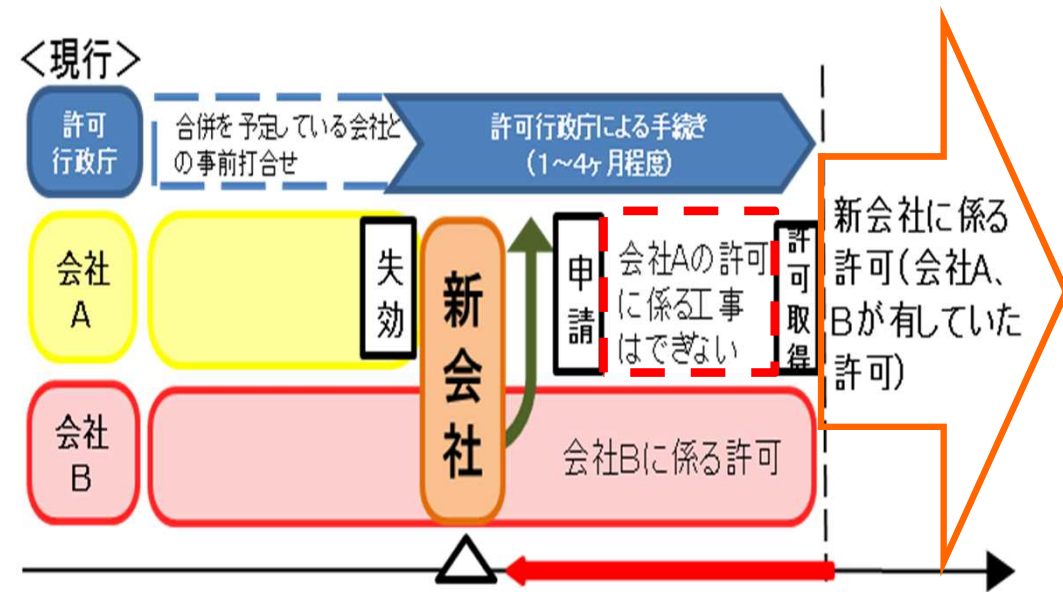
3. (2)建設業者の地位の承継について (建設業法第17条の2・3)

【現 状】

建設業者が事業の譲渡、会社の合併、分割を行った場合、譲渡、合併後又は分割後の会社は新たに建設業許可を取り直すことが必要。

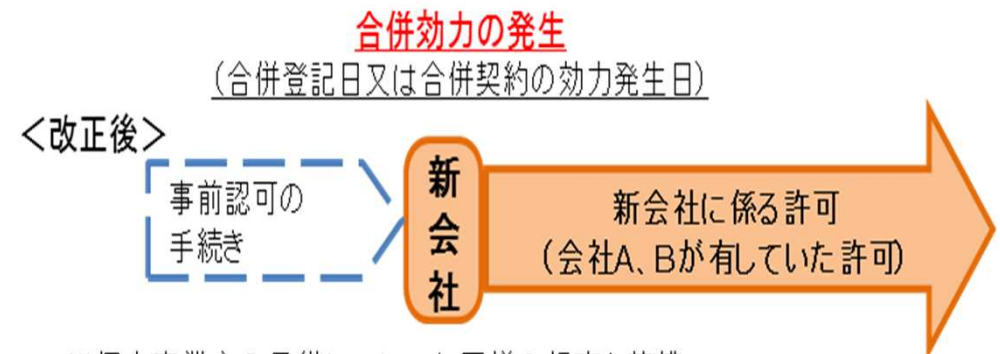


新しい許可が下りるまでの間に建設業を営むことができない空白期間が生じ、不利益が生じていた。



【改正後】

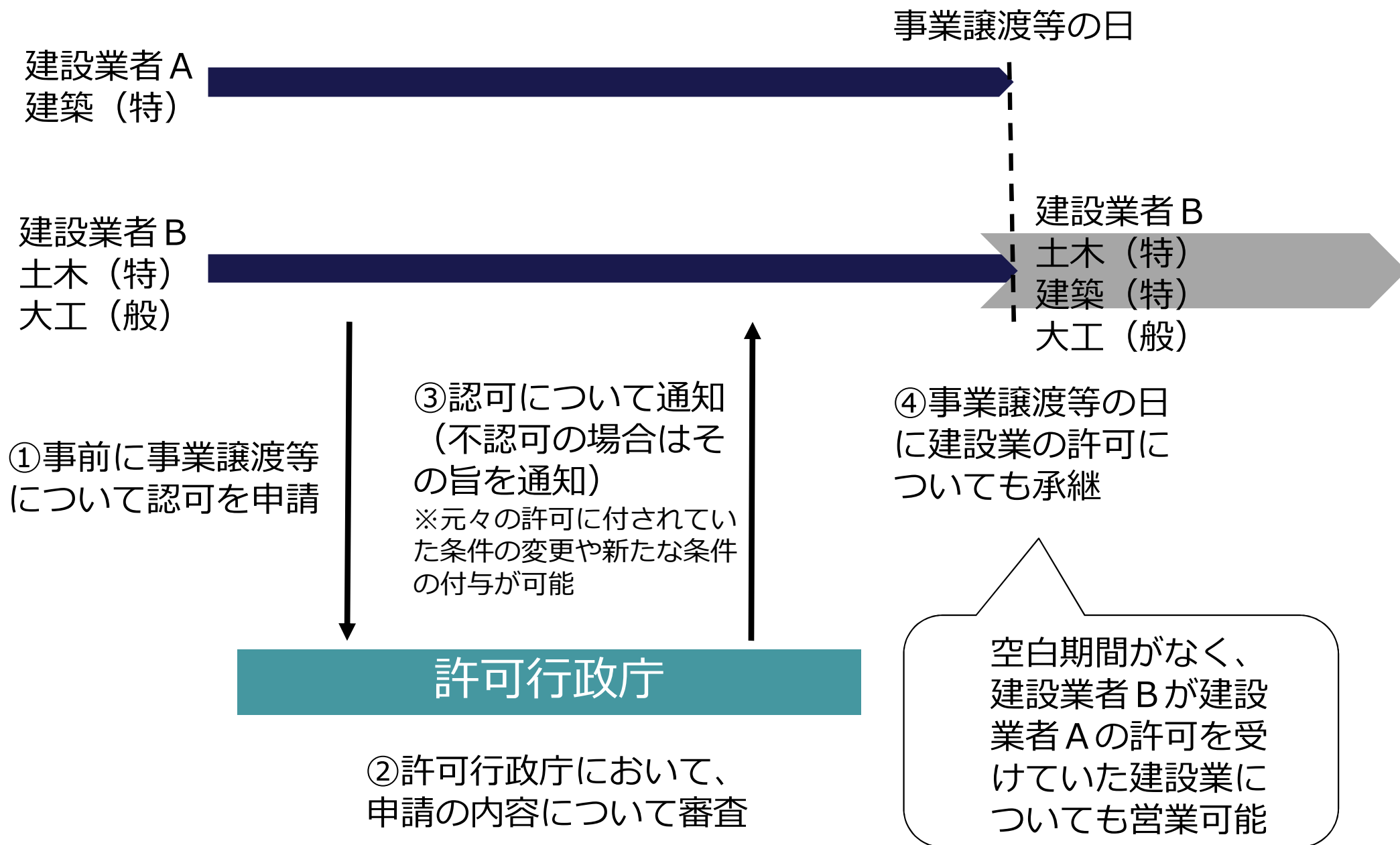
今回の改正建設業法において、事業承継の規定を整備し、事前の認可を受けることで、建設業の許可を承継することが可能に。



※個人事業主の承継についても同様の規定を整備

※ 事業譲渡等（事業譲渡・合併・分割）

例：建設業者 A の地位を建設業者 B が承継する場合



（地位承継の前）

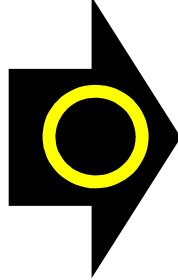
（地位承継の後）

承継元

- ・ 土木業（特定）
- ・ 鉄筋業（一般）
- ・ 舗装業（一般）
- ・ 造園業（一般）

承継先

- ・ 建築業（特定）
- ・ 鉄筋業（一般）
- ・ 大工業（一般）
- ・ 左官業（一般）



承継先

- ・ 土木業（特定）
- ・ 建築業（特定）
- ・ 鉄筋業（一般）
- ・ 舗装業（一般）
- ・ 大工業（一般）
- ・ 造園業（一般）
- ・ 左官業（一般）

※ 異業種間の承継は可。
 ※ 同一業種でも、一般・特定区分が同じなら承継は可。
 ※ 一部のみの承継は不可。

承継元

- ・ 土木業（特定）
- ・ 鉄筋業（特定）
- ・ 舗装業（一般）
- ・ 造園業（一般）

承継先

- ・ 建築業（特定）
- ・ 鉄筋業（一般）
- ・ 大工業（一般）
- ・ 左官業（一般）



一般建設業の許可を受けている者が、その許可に係る建設業のいずれか同一種類の建設業に係る**特定建設業**の許可を受けている者の地位を受け継ぐようなケースは、この制度による**承継の対象外**
 →**承継先が鉄筋業（一般）を事前に廃業することで承継可**

承継元

- ・ 土木業（特定）
- ・ 鉄筋業（一般）
- ・ 舗装業（一般）
- ・ 造園業（一般）

承継先

- ・ 建築業（特定）
- ・ 鉄筋業（特定）
- ・ 大工業（一般）
- ・ 左官業（一般）



特定建設業の許可を受けている者が、その許可に係る建設業のいずれか同一種類の建設業に係る**一般建設業**の許可を受けている者の地位を受け継ぐようなケースは、この制度による**承継の対象外**
 →**承継元が鉄筋業（一般）を事前に廃業することで承継可**

事業譲渡等の日

建設業者 A
建築（特）
→残り3年

建設業者 B

土木（特）
→残り2年
大工（般）
→残り2年
とび・土（般）
→残り1年

事業譲渡等の日に承継する許可、
元々持っている許可の両方の建設
業の許可の有効期間が更新

建設業者 B

土木（特）
建築（特）
大工（般）
とび・土（般）

→残り5年

